

活動報告

カモ類の渡去時期は 繁殖地の緯度で決まる？ 神山和夫

渡り鳥の調査では日本への飛来時期に関心が集まりがちですが、カモ類の渡去時期を調べてみると面白い傾向が見られたので、ご報告します。

バードリサーチの身近なガンカモ調査と、バードリサーチが事務局をしている環境省のモニタリングサイト1000、渡り鳥飛来状況調査の3つの調査のなかから、月3回以上の調査が行われ、かつ越冬地と考えられる場所の個体数データを使用し、1～5月までの間の最大個体数の30%以下になった時期を渡去時期として調べてみました。すると2008/09年から2010/11年までの3シーズンで、解析対象にした6種のカモすべてについて毎年よく似た傾向が見られました。図は調査地で渡去時期と判定された時期を3シーズン分まとめて表しています。

これらの種の渡去時期と繁殖地の緯度を比べてみると、4

	マガモ	ホシハジロ	オナガガモ	ヒドリガモ	コガモ	キンクロハジロ
2月上旬	0	2	3	1	1	0
中旬	2	0	5	1	1	1
下旬	2	2	10	0	4	1
3月上旬	8	4	9	6	5	2
中旬	11	9	11	5	3	3
下旬	13	7	5	0	9	2
4月上旬	18	7	8	11	7	2
中旬	10	2	2	9	9	6
下旬	1	3	0	11	10	7
5月上旬	0	0	0	9	12	5
中旬	0	0	0	3	8	0
下旬	0	0	0	1	1	4

図. カモ類の渡去時期と判定された調査地数。2008/09～2010/11年の3シーズンの渡去時期を合計。

月中に渡去が終わるマガモやホシハジロは繁殖地が比較的南方に位置しています。一方、5月以降まで渡去が続くヒドリガモ、コガモ、キンクロハジロの繁殖地はロシアの南部から北部まで幅広く分布しています。ロシアでは春になると南から雪解けが始まるので、繁殖地が南にある種は繁殖を早くから始めることができるために渡り時期も早めになっているのではないかと。そして繁殖地がロシア南部から北部まで広がっている種では、さまざまな繁殖地からやってきた個体が日本で越冬しているため、2～5月までの長い期間渡りが続くのではないのでしょうか。ただし、4月中に渡りが終息するオナガガモは北極圏まで繁殖地が分布していることや、渡去期が遅い他のカモ類の場合も、雪解けした中継地を経由して渡るのなら遅くまで日本にいらなくてもよいかもしれないため、繁殖地の緯度の他にも渡去時期に影響する要因はありそうです。

渡去時期が3シーズンとも似た傾向にあるということは、気候条件とは無関係に日照時間の変化などによって渡去が始まっている可能性があります。そうだとすると、将来、繁殖地の温暖化が進んだ場合でも、カモ類は繁殖地に到着する時期を気候の変化に適応させることができず、エサになる植物や昆虫などが発生する時期と繁殖時期のタイミングがずれてしまう危険もありそうです。

バードリサーチでは今シーズンも「身近なガンカモ調査」の参加者を募集していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

■ 身近なガンカモ調査

http://www.bird-research.jp/1_katsudo/waterbirds/gankamo/mijikanagankamo.html

お知らせ

バードリサーチ 冬のイベント

● 鳥の学校「論文を書こう」

12月3日～4日に大阪市立自然史博物館で鳥の学校を行ないます。論文をまったく、あるいはほとんど書いたことがないアマチュア研究者や学生で、日本鳥学会、バードリサーチ、大阪市立自然史博物館友の会のいずれかの会員の方が対象です。論文を書く意義、論文で書くべきこと・書いてはいけないことに関する講義、参加メンバーの研究発表とそれをどうやって論文にまとめるかの議論などを行ないます。定員30名程度。参加を希望される方は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.bird-research.jp/1/ronbun>

● モニ1000（森林・草原）鳥類調査研修会

今年も全国5か所でモニタリングサイト1000、森林草原の鳥類調査の研修会を実施します。2日間の日程で、これまでに得られた成果の報告、調査方法の講義や実習を行ないます。開催地と日程は右記のとおりです。

- 北海道旭川市 10月22日(土)PM～23日(日)AM
- 島根県出雲市 11月12日(土)PM～13日(日)AM
- 奈良県奈良市 11月26日(土)PM～27日(日)AM
- 長野県上田市 12月17日(土)PM～18日(日)AM
- 東京都港区 1月実施予定(日程未確定)

詳細は以下のページをご覧ください。

<http://www.wbsj.org/activity/conservation/research-study/monitoring1000/moni1000-training/>

● モニ1000（シギ・チドリ類調査）交流会 東北

今年度のモニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査の交流会を開催いたします。東北の湿地や干潟の紹介、震災による影響、水田地帯のシギ・チドリ類などのテーマで開催する予定です。一般の方も参加できますので、お時間がありましたら、ぜひご参加ください。詳細は以下のホームページをご覧ください。

日時：2011年10月23日 日曜日 10:00～

場所：仙台市戦災復興記念館

http://www.bird-research.jp/1_event/shigichi2011_10.html

【植田睦之・守屋年史】